

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フォレストキッズこどもの国教室			
○保護者評価実施期間	2025年 9月 15日		～	2025年 10月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2025年 9月 15日		～	2025年 10月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 31日			

○

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様にお子様と保護者様に満足して通っていただけている。	本来の意味でのオーダーメイド療育を行なっているため、規定のプログラムや教材にとらわれることなく、そのお子様に合わせた支援を提供できていると考えている。プログラムや教材をお子様に当てはめるのではなく、お子様にプログラムや教材を当てはめるように努めている。また、お子様だけでなく、保護者支援も大事にしているため、ご家庭での関わり方やお困りごとに関する相談援助を重要視し、実施している。また、日頃より保護者様とのコミュニケーションを大切にしている。	保護者様に相談援助を行う際に、しっかりと援助できるように日々の知識のアップデートが重要。また、いつでも遠慮なくお話しただけのように、モニタリングやアセスメントなどの機会には充分に時間をとって互いの信頼関係を構築するべく努めている。
2	お子様に応じた支援を提供できている。	アセスメントの際に診断や傾向にとらわれるのではなく、その子自身の特性をアセスメントしている。また、支援プログラムや教材などはその子に合わせて考案、作成するため、プログラムや教材をお子様に当てはめるのではなく、すべての教材の目的や意図を設定し、そのお子様に合わせて関わるなどの工夫をしている。	固定化されたプログラムにならないように日々情報のアップデートなどで知識をつけていき、プログラムや教材、関わり方に反映させていくことが重要。また、固定化する際には意図的であることをしっかりご理解いただけるよう説明を行っている。
3	綺麗な空間で支援できている。	午前中と就業前の2回清掃を行い、1日の終了時には使用した教材の消毒などを徹底している。また、療育の合間時間は換気をするなど感染症対策なども積極的に行なっている。	事業所をきれいに保つだけでなく、感染症などの対策のためにも、次亜消毒やアルコール消毒、職員がマスクをしたり、支援後毎回の換気を実施したりしている。また冬季には加湿器を各ブースに設置し、感染症予防に配慮し運営していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	研修、訓練等についての保護者への周知方法について	Instagramやブログなどだけでの周知となっているため、全員に届きづらい。今年度の避難訓練に関してはお子様全員に実施し、各保護者様に確認していただいた。	SNSで発信していることをもっと知ってもらうために、契約時の際に公式ラインだけでなく、Instagramのフォローもしてもらうように促す。また、オープンチャットの活用をしっかりと検討していく。
2	保護者交流会、ペアレントトレーニングなどの保護者参加のイベントの実施について	2年目になり、卒所されたお子様の保護者様にお声がけし、現に利用されているお子様の保護者様との交流機会を設けた。また、支援見学されている保護者様同士を児発管が仲介することにより保護者様同士の繋がりが広がっている。	運営の仕組みをしっかりと固めることで、療育だけでなくプラスアルファのイベントを実施するなど、ニーズに合わせた企画を検討していくことが重要。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がない	・保護者様や園からのご依頼により、各園に訪問させていただきお子様に関する情報の共有を行っている。	交流する機会が持てるように、まずは指導員が他機関との連携を密に行い、必要に応じて交流を受け入れてもらえるような体制を整える必要がある。